令 和 ６ 年 度 事 業 計 画

公益財団法人 富山コンベンションビューロー

本県におけるコンベンションの開催は、消費経済効果はもとより、学術や教育、産業振興への寄与など、広範な波及効果が期待できることから、県、市町村、民間団体と連携し、大学や団体等への誘致活動を展開するとともに、「日本接着学会」、「日本液晶討論会」、「消化器内視鏡技師学会」などの全国大会、「ＩＣＥＰ（エレクトロニクス実装国際会議）」、「ＩＦＴＡ（世界家族療法会議）」、「ＩＩＴ（イオン注入に関する国際会議）」、「ＭＥＴＡ（メタマテリアル・フォトニック液晶・プラズモニクスに関する国際会議）」などの国際会議等に対するきめ細かな支援、本県開催の魅力の広報・宣伝、コンベンションに関する調査や情報収集、関係者への情報提供などの事業をさらに積極的に展開する。

数値は目標値。【　　】内は令和５年度実績見込

１　誘致・支援事業

（１）コンベンション主催団体・大学等への誘致活動

・国際会議データベースなどを活用し、コンベンション主催関係者へ誘致活動

訪問件数２５０件（県内 150 件、県外 100 件）【244 件（県内 154 件、県外 90 件）】

・主催団体等の会議施設、エクスカーション候補地の視察受け入れ

受入件数１０件【９件】

（２）コンベンション主催者に対する支援

ア コンベンション開催支援事業補助（1/2 補助）**28 件 2,700 千円【26 件 2,057 千円】**

・県内観光に対する補助　9 件　900 千円【 7 件 472 千円】

・ﾚｾﾌﾟｼｮﾝ時の伝統郷土芸能披露に対する補助　13 件 1,300 千円【10 件 862 千円】

・参加者送迎用のシャトルバス等の借上げに対する補助　2 件　200 千円【 6 件 491 千円】

・看護師、保育士、通訳等の派遣サービスに対する補助　2 件　100 千円【 1 件　32 千円】

・ユニークベニュー活用に対する補助　2 件　200 千円【 2 件 200 千円】

イ　歓迎看板の設置

・新幹線駅（富山、新高岡、黒部宇奈月温泉）、富山空港での設置　30 件【21 件】

ウ　コンベンション・ボランティアの派遣

・会場でのインフォメーションコーナーの設置

14 件、延 70 名【 12 件、延 59 名】

エ　コンベンションタクシーの利用促進

（半額利用券発行、ＰＲ）利用件数　40 件【 32 件】

オ　手提げ袋、飲食マップ、観光パンフ等の提供

手提げ袋　15,000 部【11,013 部】

飲食マップ　25,000 部【20,492 部】

ユニークベニュー活用

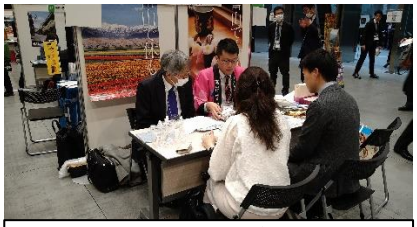
インフォメーションコーナーの設置

（３）コンベンション主催者のデータ管理　　5,100 件【5,026 件】

・国際会議協会（ＩＣＣＡ）データベースを活用した誘致先の開拓　　10 件

・蓄積したデータの活用　　5,100 件

２　広報・宣伝事業



ＩＭＥでの商談

（１）国際ミーティング・エキスポ（ＩＭＥ）への出展

・東京都内、令和 7 年 2 月（予定）商談件数 20 件【15 件】

（２）学会、大会等における企業展示等ブースへの出展

・富山県内及び都市圏（東京都内など）　3 件【　3 件】

学会、大会等の開催会場への出展により的確な誘致活動を実施

新 ### （３）ＩＭＥＸ Frankfurt（ＭＩＣＥ総合見本市・フランクフルト）への出展

・欧州最大級のＭＩＣＥ見本市の日本ブースに出展

日本政府観光局（ＪＮＴＯ）より北陸４県に対し出展料無料の取扱い

富山県との共同出展　（過去には 2019 年出展）

新 ### （４）首都圏等での誘致説明会の実施

・学会主催者（学会事務局）等を対象とした誘致説明会を開催　1 件【　－ 件】

学会事務局等が多数入居する会館での開催を想定

（５）機関誌「とやま夢大陸」の発行

・県内外主催者、学術会議会員、賛助会員等に送付。年 3 回 各 4,000 部【年 4 回 4,000 部】

（６）ホームページによる広報・宣伝

・ホームページの適切な更新、フェイスブックや E-mail により、一般市民はもとより、主催者、事業者（飲食、宿泊、交通など）に対し、広く開催情報や活動情報を提供

３　企画・調査事業

（１）参加者アンケート調査の実施

・県内で開催されたコンベンション参加者を対象に、宿泊日数、富山の印象、消費額等についてのアンケート調査を実施。賛助会員に提供し、歓迎機運の醸成を図る。

（２）コンベンション統計の作成

・令和５年度の本県でのコンベンション開催状況について調査・集計

４　情報収集・提供事業

（１）コンベンションスケジュールの作成

・令和６年度以降に開催予定のコンベンションを調査し、関係者に伝達（年２回）

・主要なコンベンションについては、ホームページに掲載して公表

・賛助会員向けに最新のコンベンション開催予定を提供（毎月）

（２）日本コングレス・コンベンション・ビューロー（JCCB）等主催の研修会等への参加

（３）各種コンベンション、セミナーの後援、協賛

（４）ネットワーク化の推進

・中部コンベンション連絡協議会への参加（年１回【年１回】）

・日本コンベンション研究会などＭＩＣＥ関連団体との連携促進（年１回【年１回】）